

シンポジウム 参加費無料（事前申し込み制） 定員 100 名

# 公私で支える高齢者の地域生活

自律的な経済活動は生活を営む上でとても大切なことですが、地域には認知症などにより判断能力が低下した人とともに、判断能力に不安を感じる人が多数生活しており、これらの人々は経済活動に不安を抱えています。経済活動を守る制度である成年後見制度は、事後的に典型的、画一的な支援を行うものですが、一方で、事前の支援を含むより総合的な意思決定支援の体制づくりもまた必要とされています。本シンポジウムでは、認知症の人さらには判断能力に不安を感じる人の生活を公的・私的に支えていくために、医療、法律、情報の視点から高齢者の地域生活を支えていくための方法について提案します。

## 基調講演

### 『高齢消費者保護の取り組み』

一般社団法人シニア消費者見守り倶楽部 岩田 美奈子

## 話題提供

### 『個人情報保護法制上の課題』

名古屋大学/慶應義塾大学 藤田 卓仙

### 『認知症の人の経済活動を支えるためにできること～医学的視点から～』

京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学教授 成本 迅

## パネリスト

吉富 康成（京都府立大学）

『認知症・高齢者の経済活動のリスク検知』

角谷 快彦（広島大学）

『認知症と経済』

日時 平成30年

**12/22** (土)

13:30～16:30

(開場13:00～)

場所

稲盛記念会館210講義室 地下鉄烏丸線「北山」下車徒歩5分

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-5

**参加費無料**

(事前申し込み制) 定員100名

主催：「高齢者の安全で自律的な経済活動を見守る社会的ネットワークの構築」プロジェクト <http://ppmelt.com/>

(科学技術振興機構社会技術研究開発センター (RISTEX) 「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」研究開発領域)

お問合せ： 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学 E-mail [ppmelt@koto.kpu-m.ac.jp](mailto:ppmelt@koto.kpu-m.ac.jp) (担当 大庭)

### 【お申込み方法】

下記QRコードもしくはURL先にあるお申込み用フォームに必要事項をご記入し送信下さい。  
アクセスできない場合はお手数ですが、①氏名、②性別、③ご所属、役職、④電話番号、⑤住所をメール本文に記載の上、下記連絡先からお申込み下さい。お申込み多数の場合、会場定員（100名）に達した時点で申し込みを締め切らせて頂きますので、予めご了承下さい。  
なお、お申し込み後3日以内に登録完了の連絡がない場合はお手数ですが下記連絡先までお問合せ下さい。

<https://goo.gl/forms/YGnddQUiGqiQR9nI2>

<お問合せ先>

京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

E-mail: ppmelt@koto.kpu-m.ac.jp 担当 大庭



### ● 稲盛記念会館へのアクセス



- JR京都駅 阪急烏丸駅から地下鉄烏丸線「北山」下車 1番出口から南へ徒歩5分
- 京阪出町柳駅から 市バス①「府立大学前」下車 徒歩5分
- JR二条駅から 市バス206 「府立大学前」下車 徒歩5分